

天文現象など☾

- 12/1 新月 ☾
- 12/5 月と金星が並ぶ
- 12/8 土星食 (東京: 18 時 19 分 ~ 19 時 2 分)
- 12/9 上弦 ☾
- 12/14 すばる食 (午前 3 時頃 ~ 5 時頃)
ふたご座流星群が極大 (条件はよくない)
月と木星が並ぶ
- 12/15 満月 ●
- 12/17 月とボルクスが並ぶ
- 12/18 月と火星が並ぶ
- 12/19,20 月とレグルスが並ぶ (22 時頃 ~ 明け方)
- 12/21 冬至
- 12/23 下弦 ☾
- 12/25 スピカ食 (東京: 3 時 17 分 ~ 4 時 13 分)
水星が西方最大離角 (明け方・東の空)
- 12/31 新月 ☾



- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下

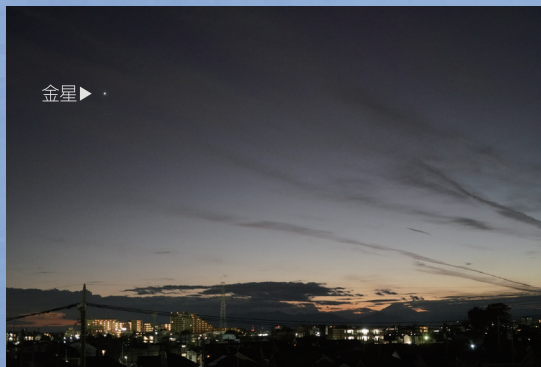
星図は空にかざして使います。
東の空を眺めるときは、星図の東が下になるように持ってかざします。

星空ワンポイント🌟

夜が長く、星が見やすい季節です。暖かくしてぜひ探していただきたいのが「すばる」。星が集まる様子から「寄り合い星」や「相談星」、そのものずばり「ごちゃごちゃ星」など、楽しい名前がいろいろと伝わっています。

今月の一枚🌅 夕暮れの空と金星

日が沈んだ後、まだ明るさの残る南西の空に、ひときわ明るく輝くのが「宵の明星」金星です。金星だけでも見ごたえがありますが、ぜひ振り返って東の空もご覧ください。こちらにも明るい星が見つかったら、木星です。そして空がすっかり暗くなるころには、南の空に土星も見えてきます。望遠鏡をお持ちの方は、土星の「見にくくなりつつある環」の観察にもぜひ挑戦してみてください。さらにこの冬はもうひとつ、「赤い惑星」と呼ばれる火星も東の空に昇ってきます。冷たく澄んだ冬の空気の中、あまりキラキラと瞬かずにじーっと光っているのが惑星の特徴です。明るさや色、そして輝き方。そんな様子を手掛かりに、冬の星々とともに輝く惑星を見つけ出してみてください。



撮影 多摩六都科学館


2024.12 ☐ …休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7 🌙 観望会
8	9	10	11 🍀 おもいやり	12	13	14
15	16	17	18 🧑 大人向け	19	20	21 🎄 特別投影
22 🎄 特別投影	23	24 🎄 特別投影	25 🎄 特別投影	26	27	28
29	30	31				

各日のイベント・投影の内容や参加方法については
当館 web サイトまたはロクトニュースにてご確認ください



イベントカレンダー



全編生解説プラネタリウム
いちようらいふく
一陽来復 冬に至る日

現代の冬至といえば、香り高い柚子のお湯につかって邪気を払ったり、かぼちゃ(南瓜)や人参などの「ん」=「運」がつく食べ物を食べたりと、縁起を担いだ風習がよく知られています。でも、そもそも冬至とは何なのでしょう? 冬至を指す言葉である「一陽来復」に込められた意味とともにご紹介します。

投影期間: 2025年2月2日(日)まで
(12/21~25はクリスマス特別投影のため休止)

対象: どなたでも (小学2年生以下は保護者と観覧)